

SAVE JAPAN 野生メダカの里・小田原

プロジェクト 2015

誰にでもできる 環境保護ボランティア 8/30 開催



【日時】 **2015年8月30日(日)**
午前9～12時

※雨天中止

中止の場合、当日7時半までに
下記URLにてお知らせします

<http://facebook.com/medasapo>

【場所】 **小田原市桑原・水田ビオトープ**

【集合場所】小田原市桑原676

【徒歩】小田急線富水駅から徒歩20分

【お車】日本新薬(株)駐車場をご利用下さい

【対象】 **どなたでも参加いただけます**

小学生以下は保護者同伴でお願いします

【費用】 **無料**

【共催】めだかサポーターの会

認定NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会

認定NPO法人 日本NPOセンター

【協賛】損害保険ジャパン日本興亜 株式会社

【協力】NPO法人 市民活動を支える会

おだわら市民活動サポートセンター

周辺地図



集合場所：小田原市桑原676
日本新薬(株)駐車場

■参加のお申し込み

【インターネット】 Save Japan プロジェクトHP

<http://savejapan-pj.net/sj2015>

[/kanagawa/](http://savejapan-pj.net/sj2015/kanagawa/)

■お問い合わせ

【メール、お電話】 めだかサポーターの会(担当:山田)

Info@medasapo.org **090(9681)1848**

※メール、お電話でも参加受付いたします。イベント保険加入のため、参加者全員分の①お名前、②性別、③年齢と、④代表者の住所、をご連絡ください。

みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境

野生メダカの里・小田原

誰にでもできる環境保護ボランティア **8/30** 開催

小田原市桑原・鬼柳地区には酒匂川水系のメダカ（ミナミメダカ、東日本型：環境省が絶滅危惧Ⅱ類に指定）が元気に泳いでいます。かつてはどこにでも見られた身近な魚・メダカはいまや絶滅が危惧されています。野生状態のメダカは神奈川県内ではここでしか見られません。なぜ激減したのでしょうか？ 実は、宅地造成や都市化・近代化で田んぼが減少したり、田んぼの乾田化（田から水を抜く農法）用水路のコンクリート護岸改修などが原因としてあげられています。



現在、少しでもメダカたちの棲みやすい環境を整えようと、保護区が設けられました。自然に親しみながら、ボランティア体験してみませんか？
ちょっと暑いけど、草刈り、藻刈り、そして前回に引き続きアメリカザリガニの駆除も行います。
水田とメダカの関係についても学習します。
最後はお楽しみ **スイカ割り大会！**

■プログラムとスケジュール

- 9:00 受付開始 開会あいさつと説明
- 9:30 野生メダカやその他の生物の観察
- 10:00 手軽な環境保護活動開始
 - ・水路周りの草刈り
 - ・水中のモンスター・オオフサモ刈り
 - ・釣ざおでザリガニ釣り
- 11:00 環境保護についてのお話し
 - ・なぜメダカは減ってしまったの？
 - ・メダカたちが依存する田んぼのお話し
 - ・スイカ割り大会
- 12:00 アンケート記入・回収後解散

■注意事項

- 【持ち物】 帽子・サングラス・飲み物など(熱中症対策)、タオル(濡れる場合があります)
- 【トイレ】 自治会集会所のトイレをご利用ください。

SAVE JAPAN プロジェクト 2015



SAVE JAPANプロジェクトは、47都道府県のNPOと地域の皆さま、損保ジャパン日本興亜と一緒に、全国各地の「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。損保ジャパン日本興亜が寄付を行い（※）、地域の環境NPOやNPO支援センター、日本NPOセンターと協働で、市民参加型の体験イベントを開催します。参加募集の案内や、開催報告など随時専用サイトに掲載。地域みんなで参加できるイベントを目指します。（<http://savejapan-pj.net/>）

（※）損保ジャパン日本興亜の自動車保険のお客さまにご契約時、「Web証券」や「Web約款」を選択いただいた場合や自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただくことにより、環境NPOなどへ寄付を行います。